

エコアクション 21



環境経営レポート

《 第 11 版 》

活動期間 2019年10月～2020年9月

地域と自然環境の調和を目指して



環境に配慮した資材を利用した堰堤工事(静岡市葵区落合地区)

2020年 12月 20日 作成



株式会社 水永建設

〒421-2124 静岡県静岡市葵区足久保口組165-1

TEL 054-296-1298 FAX 054-296-2370

HP <https://mizunaga.com>

目次

1. 組織の概要	P. 1
(事業所、所在地、事業概要、事業規模等)	
2. 対象範囲	P. 2
(認証・登録範囲)	
3. 環境経営方針	P. 3
4. 環境経営目標	P. 4
5. 環境経営計画	P. 5
6. 環境経営目標の実績	P. 6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	
(1) 環境経営計画の取組み結果とその評価	P. 7
(2) 環境経営計画の取組み状況	P. 8・9
(3) 次年度の環境経営計画	P. 10
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	P. 11
9. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示	P. 12

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者

株式会社 水永建設
代表取締役 水永芳和

2. 所在地

本 社 〒 421-2124 静岡県静岡市葵区足久保口組 1 6 5 - 1
TEL 054-296-1298 FAX 054-296-2370

清水軌道出張所 〒 424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町 1496-20

資機材置場 〒421-2124 静岡県静岡市葵区足久保口組1727-3

3. 環境管理責任者 土木部参与 石谷嗣夫

担当者 海野光代

E-mail ishigaya@mizunaga.com

4. 事業概要

・建設業 (総合建設業)

建設業の許可 特定建設業 静岡県知事許可 第24567号 (特-1)

・土工事業 ・とび土工事業 ・石工事業 ・ほ装工事業
・鋼構造物工事業 ・しゅんせつ工事業 ・塗装工事業
・水道施設工事業

・産業廃棄物収集運搬業 (収集・運搬業としての実績はありません。自社運搬のみ)

静岡県許可 第02201166682号 平成34年 6月 10日 (有効期限)

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず

5. 事業規模

活動規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度
		2017年10月～ 2018年9月	2018年10月～ 2019年9月	2019年10月～ 2020年9月
売上	百万円	296	371	288
従業員	人	16	18	18
床面積	m ²	541.5	541.5	541.5

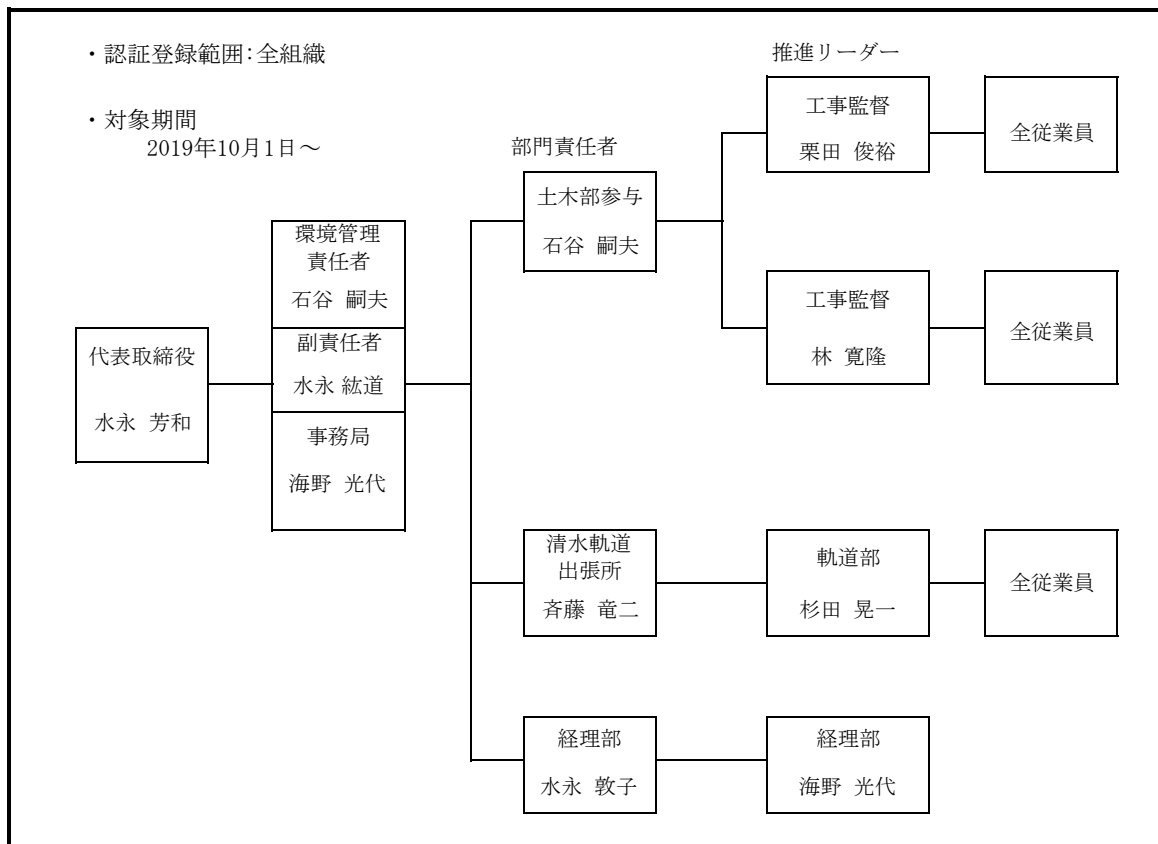
6. 事業年度

期首 10月～期末 9月

加盟団体 建設業労働災害防止協会 静岡県支部

2. 対象範囲

組織図



責任と権限

担当	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の策定及び改定 経営上の課題とチャンスの明確化 実施体制の構築 取り組みを実行するための資源(人員・設備・費用)の用意 環境管理責任者を任命する システム全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築・運用しその状況を代表者に報告する 環境目標、環境活動計画の策定、見直し 環境関連法規などの遵守及び評価 外部よりの苦情処理 社内教育の実施
推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> 文書及び記録の管理 環境管理責任者の補助業務 更新、中間審査の申請手続き
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標に対する実績管理 活動計画の実施状況の把握と指示 環境管理責任者と社内教育の実施運営 全体の進捗状況の把握と実施指示・確認
推進リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と取組への重要性を認識 決められた事を守り、自主的、積極的な環境活動への参加 協力会社への指導 環境改善の提案
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の確認、理解 環境改善の提案

3. 環境経営方針

【環境理念】

事業者として、土木建設及び軌道工事を通じて、社員一人ひとりが環境の保全を意識し資源循環型社会の構築に継続して取り組みます。

【環境方針】

当社は環境理念に基づき、以下の環境方針を定め継続的な環境経営を展開します。

1. 省資源・省エネルギー活動を推進し二酸化炭素排出量の低減に努めます。
2. 廃棄物の削減とリサイクル活動の推進に努めます。
3. 節水に努めます。
4. 工事現場における環境に配慮した施工等により環境負荷の低減に取り組みます。
5. 環境関連法規等を遵守します。
6. 社員に対し環境に対する教育を行い環境保全の意識の向上と継続的な改善に努めます。
7. 環境レポートを公表し社会とのコミュニケーションを積極的に行います。

制定日 2011年 10月 1日

改定日 2018年 10月 1日

株式会社 水永建設
代表取締役 水永芳和

4. 環境経営目標

中長期環境経営目標

【全部門】

基準年は2013年度実績（2012年10月～2013年9月）

項目	単位	基準値(2013年度)	2020年度目標 (増減率)	2021年度目標 (増減率)	2022年度目標 (増減率)	2023年度目標 (増減率)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	80,034	-3.3%	-3.5%	-3.7%	-3.9%
購入電力使用量	kWh	26,030	-3.3%	-3.5%	-3.7%	-3.9%
ガソリン使用量 (走行燃費)	使用量	ℓ	15,834	—	—	—
	走行距離	km	78,810	—	—	—
	燃費 ※1	km/ℓ	11.4	12.3km/ℓ(+7.9%)	12.3km/ℓ(+7.9%)	12.4km/ℓ(+8.8%)
軽油使用量 (走行燃費)	使用量	ℓ	10,508	—	—	—
	走行距離	km	78,810	—	—	—
	燃費 ※1	km/ℓ	7.5	8.0km/ℓ(+6.7%)	8.1km/ℓ(+8.0%)	8.2km/ℓ(+9.3%)
灯油使用量	ℓ	911	-3.2%	-3.4%	-3.6%	-3.8%
一般廃棄物排出量	t	0.27	-3.7%	-3.8%	-3.9%	-4.0%
産業廃棄物排出量	t	427	-2.7%	-2.9%	-3.0%	-3.1%
水使用量	m ³	464	-2.6%	-2.7%	-2.8%	-2.9%
環境に配慮した工事施工	件	施工法の検討	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上

★購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.452 kg-CO₂/kWh

※1 ガソリン及び軽油使用量は工事受注量や現場間の距離により大きく変動するため、環境経営目標は車両の走行燃費の向上とする。

※2 ガソリン及び軽油使用量は二酸化炭素排出量を算出するための参考値とする。

【事務所】

項目	単位	基準値(2013年度)	2020年度目標 (増減率)	2021年度目標 (増減率)	2022年度目標 (増減率)	2023年度目標 (増減率)
購入電力使用量	kWh	6,526	-3.3%	-3.5%	-3.7%	-3.9%
ガソリン使用量 ※2	ℓ	986	-2.8%	-3.0%	-3.0%	-3.0%
灯油使用量	ℓ	651	-3.2%	-3.4%	-3.6%	-3.6%
一般廃棄物排出量	t	0.27	-3.7%	-3.8%	-3.9%	-3.9%
水使用量	m ³	464	-2.6%	-2.7%	-2.8%	-2.8%

※建設現場と比較して環境負荷の変動が少ない事務所の電力等のエネルギー使用量を重点的に削減する。

【建設現場】

項目	単位	基準値(2013年度)	2020年度目標 (増減率)	2021年度目標 (増減率)	2022年度目標 (増減率)	2023年度目標 (増減率)
購入電力使用量	kWh	19,504	-3.3%	-3.5%	-3.7%	-3.9%
ガソリン使用量 ※2	ℓ	14,848	-2.8%	-3.0%	-3.0%	-3.0%
軽油使用量 ※2	km/ℓ	10,508	-2.8%	-3.0%	-3.0%	-3.0%
灯油使用量	ℓ	260	-3.2%	-3.4%	-3.6%	-3.6%
産業廃棄物排出量	t	427	-2.7%	-2.9%	-3.0%	-3.0%

5. 環境経営計画

No	項目	活動内容	担当者	2020年度/月												備考	活動の評価			
				10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	電気使用量の削減	パソコンを未使用時には電源をOFFにする。	全員														○			
		省エネタップを使用し待機電力をカットする。																○		
		事務所内のエアコン温度を設定する。				→												→	温度を夏28℃・冬22℃に設定	○
		未使用エリアの蛍光灯は電源をOFFにする。																	○	
		昼休み時の消灯を徹底する。																	○	
		エアコンフィルタの定期清掃する。				→												→	年2回	○
		LED蛍光灯の導入を検討する。																	○	
																△				
2	燃料使用量の削減	エコドライブ10の周知と励行。	全員														○			
		重機・車両等の燃費の個別管理を強化。																○		
		エコドライブステッカーの貼付による意識の向上。																	○	
		重機の省エネ運転を励行する。																	○	
		車両更新時は、低燃費車の導入を検討する。																	○	
		☆ ICT情報化施工による重機使用の取組み																	○	
																△				
3	廃棄物排出量の削減	コピー用紙購入量の削減。(両面印刷・裏紙使用)	土木部														○			
		分別ボックスの活用によるごみ排出量削減の推進。															○			
		段ボール等のリサイクルに努める。																○		
		現場での分別回収の推進と資源化を図る。																○		
4	水使用料の削減	洗車時等の節水。(雨水等を利用をする)	全員													○				
		不必要な水の垂れ流しを禁止する。															○			
5	環境に配慮した工事施工等	環境負荷の軽減に繋がる工事施工法等の提案	土木部													○				
6	社内教育の推進	環境関連のテーマを決めて勉強会を実施する。	全員													○				
7	地域・社会貢献への参加	地域の環境保全活動への参画する。	全員													○				
		道路、河川、ガードレール等の清掃活動への参加。	担当者	→											→	〃	○			

☆ 今期新たに追加した活動

※評価の記号 取組みの達成度が◎：100～80% ○：80～60% △：60～40% ×：40%未満を表す

6. 環境経営目標の実績

【全部門】

2020年度実績(2019年10月～2020年9月)

項目	単位	基準値(2013年度)	2020年度目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO2	80,034	77393
購入電力使用量	kWh	26,030	25171
ガソリン使用量 (走行燃費)	使用量	ℓ	15,834
	走行距離	km	180,507
	燃費 ※1	km/ℓ	11.4
軽油使用量 (走行燃費)	使用量	ℓ	10,508
	走行距離	km	78,810
	燃費 ※1	km/ℓ	7.5
灯油使用量	ℓ	911	882
一般廃棄物排出量	t	0.27	0.26
産業廃棄物排出量	t	427	415
水使用量	m ³	464	452
環境へ配慮した工事施工	件	施工法の検討	1件以上

増減実績評価 ◎増減目標達成率 10%以上 ○達成 10%

★購入電力の二酸化炭素排出係数は0.452kg-CO2/kWh

※1 ガソリン及び軽油使用量は工事受注量や現場間の距離により大きく変動する

※ガソリン車の燃費は土木部で使用している車両6台分の走行距離をガソリン使用

※軽油使用車の燃費は軌道部で使用している車両4台分の走行距離をガソリン使用

※2 ガソリン及び軽油使用量は二酸化炭素排出量を算出するための参考値とする。

※3 上記のガソリン 及び軽油使用量は社有車の燃費算出用の数量です。

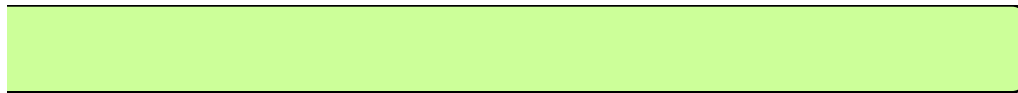
※4 環境への負荷の状況(取りまとめ表)の ガソリン 及び軽油使用量は上記の起重機等のガソリン・経由も含めた数

【事務所】

項目	単位	基準値(2013年度)	2020年度目標値
購入電力	kWh	6,526	6,311
ガソリン使用量 ※2	ℓ	986	958
灯油使用量	ℓ	651	630
一般廃棄物排出量	t	0.27	0.26
水使用量	m ³	464	452

【建設現場】

項目	単位	基準値(2013年度)	2020年度目標値
購入電力	kWh	19,504	18,860
ガソリン使用量 ※2	ℓ	14,848	14,432
軽油使用量 ※2	ℓ	10,508	10,245
灯油使用量	ℓ	260	252
産業廃棄物排出量	t	427	415



2020年度実績値	増減目標	増減実績	評価
66,823	-3.3%	-16.5%	◎
25,575	-3.3%	-1.8%	△
8,140	—	-48.6%	—
120,739	—	-33.1%	—
14.8	7.9%	29.8%	◎
4,004	—	-61.9%	—
34,809	—	-55.8%	—
8.7	6.7%	16.0%	◎
197	-3.2%	-78.4%	◎
0.48	-3.7%	77.8%	×
56.8	-2.7%	-86.7%	◎
364	-2.6%	-21.6%	◎
2件	1件以上	200%	◎

△未満 △未達成 -10%未満 ×未達成 -10%以上

ため、環境経営目標は車両の走行燃費の向上とする。

目量で除した数値です。

目量で除した数値です。


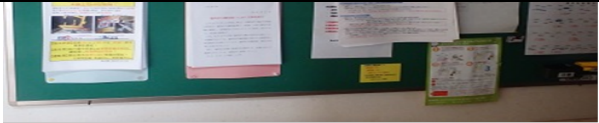

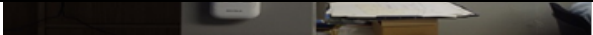


。

土有車(10台)分以外に工事で使用するダンプカーや

2020年度実績値	増減目標	増減実績	評価
6,179	-3.3%	-5.3%	○
510	-2.8%	-48.3%	◎
197	-3.2%	-69.7%	◎
0.48	-3.7%	77.8%	×
364	-2.6%	-21.6%	◎

2020年度実績値	増減目標	増減実績	評価
19,396	-3.3%	-0.6%	△
13,337	-2.8%	-10.2%	◎
8,751	-2.5%	-16.7%	◎
0	-3.2%	0.0%	◎
56.8	-2.7%	-86.7%	◎

7-2. 環境経営計画の取組み状況

項目	取組内容	状況写真
経営計画の推進	定例会議にてフォロー	
	伝達事項の掲示	
	不要時のスイッチ OFF	
	空調機の温度管理	
	節電意識の向上	
水使用量の削減	節水の徹底	

廃棄物排出量の削減	コピー紙の使用抑制	
	分別回収の推進 (ペットボトルキャップの回収等)	
環境への配慮	現場の安全パトロール	
社会貢献への参加 (ボランティア活動)	河川のゴミ清掃	
	学童の見守り	
	古切手の収集と寄付	

8. 環境関連法規等の遵守状況の結果並びに違反、訴訟等の有無

遵守確認日：2020年11月30日

法律等の名称	該当する環境関連法規	適用項目	管理責任部門	遵守評価
建設業として遵守する法律	廃棄物処理法	事務所からの廃棄物 ・再利用による削減・分別して搬出(リサイクル化)	事務局	○
		運搬基準の遵守 ・飛散、流失の防止・車両への表示	土木部	○
		保管基準の遵守 ・保管場所の掲示版設置(60×60cm以上)	土木部	○
		場外保管の届け出 ・工事現場以外の場所に保管する場合の届け出	土木部	○
		委託基準 ・委託契約の締結・契約書の5年間保存 ・委託先の許可確認	土木部	○
		マニフェストの交付 マニフェストの回収、照合 ・A, B2, D, E票保管(5年間) ・発行後B2・D票90日E票180日以内 ・未回収戻り票の報告 ・「交付状況報告」前年度実績を毎年6月末日報告	土木部	○
		保管場所 ・保管場所の管理 ・積み上げ高さの厳守。 雨・風・悪臭発生に対する養生	土木部	○
	適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置	事務局	○
		産業廃棄物処理の委託先の実施確認とその記録保全 ・年1回以上(5年間保存)	事務局	○
	建設リサイクル法	対象建設工事の再資源利用計画書に添った実施と管理	土木部	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理適正化(該当する空調機器はなし)	事務局	○	
騒音規制法 静岡県生活環境保全条例	作業現場における規制基準の遵守	土木部	○	
振動規制法 静岡県生活環境保全条例	作業現場における規制基準の遵守	土木部	○	
事業者として遵守する法律	環境基本法	エコアクション21への取り組み	事務局	○
	循環型社会形成推進基本法	ゴミの削減・再利用・リサイクルへの努力	全部門	○
	地球温暖化対策推進法	エコアクション21への取り組み	全部門	○

遵守確認者： 環境管理責任者 石谷嗣夫

- ① 環境関連法規への違反並びに訴訟は過去3年ありません。
- ② 1年に1回(10月)定期的に見直します。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

		項 目	確認	必要に応じて評価・コメント記載
1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	1	エコアクション 21 文書	☑	建設業者向けガイドライン 2017 年度版対応
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☑	環境経営目標の実績は一般廃棄物排出量を除いて、大概の項目で目標を達成した。
	3	環境経営計画及び取組み実施状況	☑	経営計画の各項目の取組については計画通りに実行できた。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	該当するものは、全て遵守した。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	外部からの苦情はなし。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	今年度は、特にガソリン使用量が大幅に減少し軽油使用量が年々増加している。この傾向が工事内容による一時的な現象なのか、もう少し見極めて目標値等の見直しを検討する。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部機関	☑	地域社会活動に積極的に参加した。
	8	その他（	☐	
		全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、 環境への取組の適切性等)	<p>環境経営目標は、大概の項目で達成できた。また環境に配慮した施工など経営計画に基づく取組みも定着してきており、環境経営システムとして順調な運営であると認識している。</p> <p>コロナ禍にあつて先行きが不透明な状況であるが、事業分野において現場での環境に配慮した施工管理に注力する。</p> <p>課題としては、軽油と電力のエネルギーバランスが経営目標と合致しない傾向であり、次年度の実績を見極めてから、基準年や目標値の見直し等を判断したい。</p>	
2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 指 示 ・ 見 直 し	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項
	1	環境経営方針	有・無	
	2	環境経営目標・計画	有・無	
	3	環境経営計画・取組み項目	有・無	
	4	環境に関する組織	有・無	
	5	その他のシステム要素	有・無	
	6	その他（外部への対応）	有・無	

2020 年 12 月 20 日
代表取締役 水永芳和